

令和2年度

事務事業評価表 ( 令和元年度 の実績評価)

記入年月日  
令和2年4月16日

事務事業名	自動車騒音常時監視業務					事業区分	新規/継続 単独/補助	継続 単独	担当	事務事業No. 050803000239	
政策体系上の位置付け											
総合計画の施策名	0508		生活環境の保全								
政策名	05		快適な暮らしのまちづくり								
施策名	08		生活環境の保全								
手段名	03		③公害防止活動の推進								
財務会計上の位置付け						事業期間					
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計 公害対策事業				単年度繰返し (平成24年度~)
01	04	01	04	01	00		☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				
法令根拠	騒音規制法										

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

手 段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順							
	桜川市内における、自動車騒音の状況について、環境省が配布する面的評価システムを使用し、自動車騒音の状況及び対策の効果等を調査し、自動車騒音公害防止の基礎資料として、継続的に把握する。 桜川市内の監視の対象となる高速道路・一般国道・県道の19路線(評価路線)を、5年ローテーションで経年的に測定する。		測定地点の選定。(対象路線・高速道路・一般国道・県道の19路線。)委託契約。現地調査 ・基礎調査・土地利用状況・道路交通情勢・道路構造の把握 ・沿道状況の把握・居等の属性(建物位置・戸数・環境基準の種類)の把握。 ・騒音測定等・騒音測定・交通量調査・自動車走行速度調査・面的評価 ・環境基準達成状況を環境基準の地域類型別、時間の区分、地域の区分ごとに集計。 環境省への報告書作成。							

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
調査対象路線の事前現地調査。 環境省への報告書作成。	評価路線数	箇所	6.00	6.00	5.00	5.00	4.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
桜川市内19路線 (高速道路・一般国道・県道)	評価区間延長距離	km	21.90	22.60	16.70	23.20	29.20
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
自動車騒音の把握	環境基準達成率	%	99.10	99.50	100.00	100.00	100.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業内訳	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	期間限定 総投入量	
						国庫支出金
事業費	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,480	1,474	1,636	0
	事業費計(A)	千円	1,480	1,474	1,636	0
量	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人	

事業費の内訳	01年度事業費 実績 (千円)		02年度事業費 予算 (千円)	
	13 委託料	1,474		12 役務費
			13 委託料	1,620
	合計	1,474	合計	1,636

事務事業名	自動車騒音常時監視業務	事務事業No.	50803000239	所属課	生活環境課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」により、常時監視は平成24年度から法定受託事務とされた。経緯としては、自動車騒音対策を計画的総合的に行うために、地域の騒音暴露状況を経年的系統立てて監視することが必要不可欠であると、平成10年の騒音規制法改正時に新設された。自動車騒音の状況・対策の効果等を把握し、自動車騒音公害防止の資料とする。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
特になし。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 自動車騒音公害防止の基礎資料となる。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 平成24年度から法定受託事務(「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」)
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 監視の対象となる道路は、環境省マニュアルによる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 騒音規制法第18号により廃止することはできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他に類似事業はない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 必要最小限の経費である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 対象路線については、5年ローテーションで市内を調査するので公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	自動車騒音公害防止の基礎資料となる法定受託事務(「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」)である。																							
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				成果	低下			
成果	向上 維持 低下	コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上	○																							
	維持																								
成果	低下																								
	(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ③																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>